つぎなにプリント31

山の中で、わたしは一人ぼっちの子じかと出会った。

子じかはかなしそうなかおをして、わたしのかおを見てきた。

かわいそうにおもったわたしは、子じかをどうぶつびょういんへつれていった。

わたしは、いいことをしたとおもった。

何せ、一とうのしかをたすけたのだから。

しかし、どうぶつびょういんのおいしゃさんは、かおをまっかにして、わたしにこう言った。

「なんてことをしたんだ！お前がしたことはいいことなんかじゃない！この子じかにはもしかしたら、親がいたかもしれないんだ！それなのに、つれてきてしまった・・・。」

わたしはハッとした。そうか、もしかしたら今ごろ、この子の親は